

キャンプファイヤー

第1部・第2部・第3部の3部構成で行う。第1部は点火、第2部はレクリエーションや出し物、第3部は納火が基本的な流れであるが、各団体でオリジナルのものでも良い。

対象			時期				時間						
どなたでも			通年				1時間～2時間						
期待される活動の効果													
思 考 力	判 断 力	表 現 力	能 力	シ ョ ン ケ ー ン	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	体 力	生 命 の 尊 重	感 動 す る 心	知 識 ・ 技 能	協 調 性	主 体 性	能 力 問 題 解 決	課 題 発 見
○		○						○		○			
準備物													
〔自然の家が準備できるもの〕						〔団体・利用者が準備するもの〕							
<input type="checkbox"/> トーチ (8) <input type="checkbox"/> 女神の衣装 <input type="checkbox"/> 灯油 <input type="checkbox"/> 着火マン <input type="checkbox"/> CDデッキ <input type="checkbox"/> 進行例プリント、言辞例プリント <input type="checkbox"/> CD						<input type="checkbox"/> 必要な曲 <input type="checkbox"/> ゲームや出し物で使用する物 <input type="checkbox"/> 言辞例 (女神の言葉など) や歌、全体の動きの練習 <input type="checkbox"/> 役割分担							

【プログラムの流れ】

- 1 リハーサル (各係の動きや流れの確認を行う。※本番開始45分前目安)
- 2 参加者、各係スタンバイ
- 3 本番前の指導者からのお話 (キャンプファイヤーを行う意味、目的)
- 4 本番 (各団体で決めたオリジナルの流れで実施。※別紙「キャンプファイヤー実施例」参照可)
- 5 片付け・借用物返却
- 6 終了 ※当日は消火、翌日に燃え残りの薪や丸太、灰の片付けなどがあります。

【活動の留意点】

- 活動中は、火の取り扱いに十分留意して進行する。
- 火の粉が飛んでくる可能性があるため、ベンチの位置に気を付ける。
- 服装にも留意する (火の粉がとんできても、溶けないような素材)
- 当日までに事前の流れや出し物の練習が必要。



【活動の様子】



キャンプファイヤー 片付けについての方法について



【当日】

- ホースやバケツを使い、水をたくさんかけてください。
(5分くらいかけ続けてください。)
- 燃え残った丸太だけでなく、穴の中にもたっぷりかけてください。
- 貸し出し用具を事務室までご返却ください。

【翌日】

- 燃え残った丸太を積み上げてください。
※前の団体さんのが残っています。
- 細かくなった木材を積み上げた丸太の近くに集めてください。
- 穴の中の灰や燃え残りをスコップを使って出し、山手の傾斜しているところに広げてください。
- 鉄のふたを閉めてください。

※2人以上で片付けをする場合だけでかまいません。

よろしくお願ひいたします。

豊野少年自然の家